

下水道管の長寿命化を進めています

上下水道局

問 下水建設課 ☎ 25-3423

～ 下水道管更生工事の取り組み ～

市内の地下には約1,200kmの下水道管があり、古くは、昭和30年代に造られたものがあります。

古くなった下水道管は、流れてくる汚水などの影響でもろくなり、壊れてしまう場合があります。道路の下の管が壊れるとそこに土砂が流れ込み、陥没などの事故につながる場合があります。

そのような事故が起こらないように、上下水道局では、計画的に管を直す工事を行っており、交通規制などの影響を減らすため、下水道管を掘り返すことなく、古い管の内側に新しい管を作る更生工法を採用しています。

(古い下水道管)



(内側に強度のある材料で管を構築)



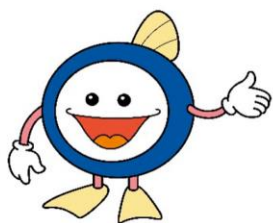
下水道管は、地震に強い材料を使用して、耐震性を向上させています。



工事前の下水道管



工事の様子



下水道管を大切に使う

下水道管に流れ込んだ油が冷えて固まり、下水道管を詰らせる原因になっています。

油が流れ込まない様に、適切な処理をお願いします。



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」